

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

善通寺市.COMPASS 児童発達支援センター



○事業所名	善通寺市.COMAPSS児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～ 令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～ 令和7年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年9月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が安心して通所でき、成長を実感できる事業所であり続けられるよう、法令やルールを遵守しながら、支援の質の向上に努めてまいります。
2	利用児童の対象が小学校1年生から3年生であるため、児童同士の関わりが生まれやすく、コミュニケーションを育みやすい環境となっております。	療育準備や環境整備においても、職員それぞれの得意分野を活かせるよう役割分担を工夫しております。	近隣事業所と合同でのイベントを取り入れ、体験を通して児童が自信をつけられるよう支援しております。 また、その中で見えてくる新たな課題についても職員間で共有しております。
3	職員間で多職種連携を図られており、支援の質の向上に努めております。	意見交換やアドバイスの機会を多く設けております。	リフレクション(振り返り)を定期的を実施し、情報や課題を職員間で共有しております。 また、他事業所との意見交換もおこない、よりよい支援体制の構築に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアの構造のため、児童が入りやすい場があります。 また、個室など落ち着いて過ごせるクールダウンスペースが十分に確保できていない状況です。	パーテーションだけでは、簡易的であり倒れる危険性があります。	目的に応じた空間づくりのために必要な備品などを整えてまいります。
2	各ご家庭単位では情報共有や連携はできておりますが、父母の会などの交流会の開催はできておりません。	保護者様の就業状況の観点から、交流会の開催は控えている状況です。	今後は保護者様のご意向を踏まえながら、必要に応じて交流の機会について検討してまいります。
	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた運営は現在実現しておりません。	個人情報保護の観点から、地域交流は控えている状況です。	保護者様のご意向を踏まえ、利用児童の安全を最優先に考えながら、可能な範囲で地域との関わりについて検討してまいります。



公表日：令和8年3月11日